

# 防ぎましょう！ 冬期間の油流出事故



冬期間は、事業所や一般家庭のホームタンクから重油や灯油などが漏れ出して用水路、河川などに流出する事故が多発しています。

主な原因は、ホームタンクから油の移し替えの途中に目を離れたことやバルブ、配管の破損などとなっています。

油の流出は、環境を汚染し、その処理に多くの費用がかかります。処理経費は、原因者の負担になりますので、普段から点検や補修を行い、油流出事故を防ぎましょう。

農林環境エネルギー課 ☎66-2111内線141

## 盛岡中央消防署葛巻分署からのお知らせ

### 11月9日(月)～15日(日) 秋季火災予防運動

全国一斉に秋の火災予防運動を実施しています。火災を予防するため、次のことに注意しましょう。

- 住宅用火災警報器を設置しましょう
- 寝たばこは絶対にやめましょう
- ストーブから燃えやすいものを離しましょう
- ガスこんろから離れるときは火を消しましょう

全国統一防火標語

「その火事を 防ぐあなたに 金メダル」

#### 火災防御訓練を実施します

【日時】 11月15日(日)  
10時～11時  
【場所】 小屋瀬小学校



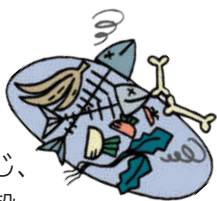
盛岡中央消防署葛巻分署 ☎66-2709

## おさらい 生ごみの出し方

生ごみの出し方は地区によって異なりますので、次の点に注意してごみ集積所に出してください。また、生ごみは貴重な資源として再利用されますので、ルールを守って出しましょう。

### 【田子～四日市地区】

- ▷しっかりと水切りをしましょう。
- ▷ビニール、割り箸、つまようじ、アルミホイル、たばこの吸い殻、プラスチック、金属、紙類などは混入させないでください。
- ▷魚の骨や頭、トウモロコシの芯、貝殻、生米などの固いものは、燃えるごみに出してください。



### 《注意！》

固いものが混入されると生ごみ処理機が故障し、生ごみが処理できなくなります。シジミなどの貝殻や生米が混入し、作業に支障が生じる事例が発生していますので、注意してください。

### 【上記以外の地区】

- ▷できるだけ、コンポストで処理しましょう。
- ▷やむなくごみに出す際は、水をよく切り、燃えるごみに出してください。

### ■生ごみ処理機の購入費用の一部を助成します

町では、生ごみ処理機を購入する際の費用の一部を助成しています。生ごみ処理機を利用すると、ごみの減量につながるとともに、家庭菜園などの堆肥にすることもできますので、ご活用ください。



手続きの方法など詳しくは、農林環境エネルギー課(☎66-2111内線141)にお問い合わせください。

### ■事業系のごみは

地区の集積所には出せません！  
会社や工場、商店、事業所から出る事業系一般ごみは、法律で事業所自らの責任により適正に処理することが定められています。事業系のごみは、自分で処理施設に持ち込むか、廃棄物収集運搬業許可業者に処理を依頼してください。



くずまき型DMO 観光PR検討部会企画

## 自転車でミッションをクリア！ くずまきサイクルフォトハンティング



「くずまきサイクルフォトハンティング」は10月11日、町内外から6チーム11人が参加し開催されました。くずまき型DMO観光PR検討部会が、町内を自転車で巡る楽しみを知ること、サイクルツーリズムへの取り組みを身近に感じてもらうと企画運営したもの。同部会では、3年ほど前から自転車に着目し、サイクルステーションの整備や町内試走、イベント開催などを行っています。今回のイベントは、町内33のチェックポイントが記載されたミッションマップを頼りに指定されたポイントで写真を撮影し、その難易度により加算される総合得点を競い合うもの。撮影した写真はInstagramに投稿し、リアルタイムでくずまきの情報を発信するなど、新たな試みにも挑戦しました。

中学生・高校生部門で優勝した「もう中3」チームの向川原煌さん(葛巻中)、六角聖弥さん(同)、近藤優丞さん(同)は「疲れた」と振り返りながらも「行けるところまで行ってみよう」と自分たちなりの目標を立て、平庭峠を走破。疲労の中にも達成感をにじませ、仲間とともに巡る自転車の楽しさを感じたようでした。



ミッションマップで示された構図で写真を撮影



沿道の声援に笑顔で応える中学生チーム



スタート前の作戦会議でミッションマップを参考に走行ルートを決める



ミッションマップを頼りに、次に目指すポイントを確認する大人チーム



ひたすらペダルをこぎ進み目的地を目指す高校生チーム



「中学生・高校生部門」と「ひと汗かきたい大人部門」の各部門ごとにスタート



実践者たちの話に真剣に耳を傾ける参加者たち

## まちづくりへの思い語る くずまきサイクルツーリズムフォーラム

くずまきサイクルツーリズムフォーラム(くずまき観光地域づくり協議会主催)は10月11日、総合センターで開催されオンラインでのリモート参加者を含む約70人が参加しました。同協議会長の觸澤副町長は「自転車は交通、観光、経済、環境、健康など、さまざまな分野との関わりがあります。町全体で取り組み、町民の皆さまへの普及と観光客が訪れるきっかけとして、関係人口、交流人口の拡大につなげていきたい」とあいさつ。くずまき型DMO観光PR検討部会がこれまで取り組んできたサイクルツーリズム構築への道のりやその際出された提案を一冊にまとめた「くずまき型サイクルツーリズムアクションプラン」の紹介のほか、講演会や現在活動している部会員らによるパネルディスカッションが行われました。参加者たちは、さまざまな形でサイクルツーリズムに関わる実践者らの話に関心を寄せ、真剣に耳を傾けていました。